

編集後記

今回は、はじめて特集の形をとっている。二〇一四年からはじまったバトナム社会科学学院での日本語蔵書調査が、そろそろ一区切りを迎えてきたためだ。二〇一七年度中には目録化作業が終わることとなる。今回はいくつかその蔵書についてふれた論が並んでいるが、実際の研究はむしろ目録が完成したこれから、ということになる。次号には、よりその蔵書の内容に踏み込んだ論も掲載できようし、シンポジウム、あるいは調査をもとにした出版企画も準備しはじめている。

ただ、リテラシー史研究会は、特にこうした海外日本語蔵書に関して特化しているわけではない。近代の読み、書く行為の歴史をとらえようとする意欲的な研究や調査を、今後も広く募集、掲載していきたいと考えている。幅広い研究者からの投稿を、今後も期待したい。

(A W)

リテラシー史研究 第十二号

二〇一八年一月二〇日発行

編集兼発行者 リテラシー史研究会 和田敦彦

東京都新宿区西早稲田一―六―一

早稲田大学教育学部 和田敦彦研究室内

印刷 信毎書籍印刷株式会社

長野県長野市西和田一―三〇―三